

クリニカルパスの 普及・体制の現状と課題

～第19回(2019年)アンケート結果から～

日本クリニカルパス学会 広報委員会

調査目的

- ・ クリニカルパスの日本における現状と動向を把握する。
- ・ 現場が求めている情報、支援を理解し、今後の学会としての活動に示唆を得る。
- ・ 特定調査は、院内で集計しているパスに関するデータとし、パス使用率等のクリニカル インディケーターについて調査した。

調査方法

〈対象〉

- * 日本クリニカルパス学会の法人会員 438施設
- * 200床以上の全国の一般病院（一部例外を含む） 885施設
（法人会員施設を除く）
- * 教育セミナー参加施設 61施設
- * 上記のうち、送付先のエラーや病院の合併などで返送分 32施設

計1,352施設

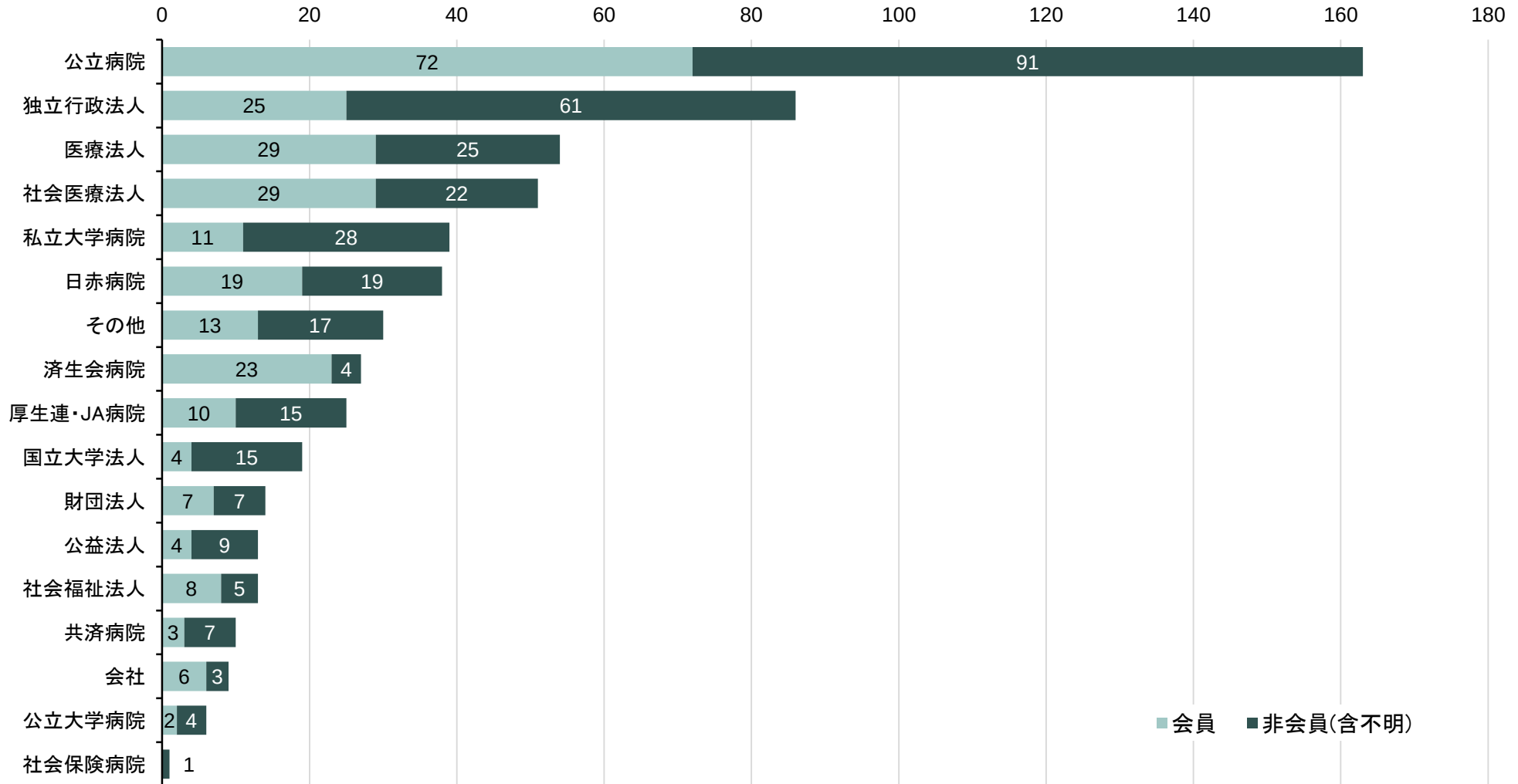
郵送によるアンケート調査。

2019年 8月に調査票を配布し、未記名にて回収（任意で施設名を記入可能）。

調査結果

- * 調査票回収割合：44.2% (598／1,352施設)
前年度比1.5ポイント減少
- * 法人会員：60.5% (265／438施設)
- * 非会員：35.1% (321／914施設)
- * 会員種別不明：0.9% (12／1,352施設)
(教育セミナー参加施設：61施設を含む)

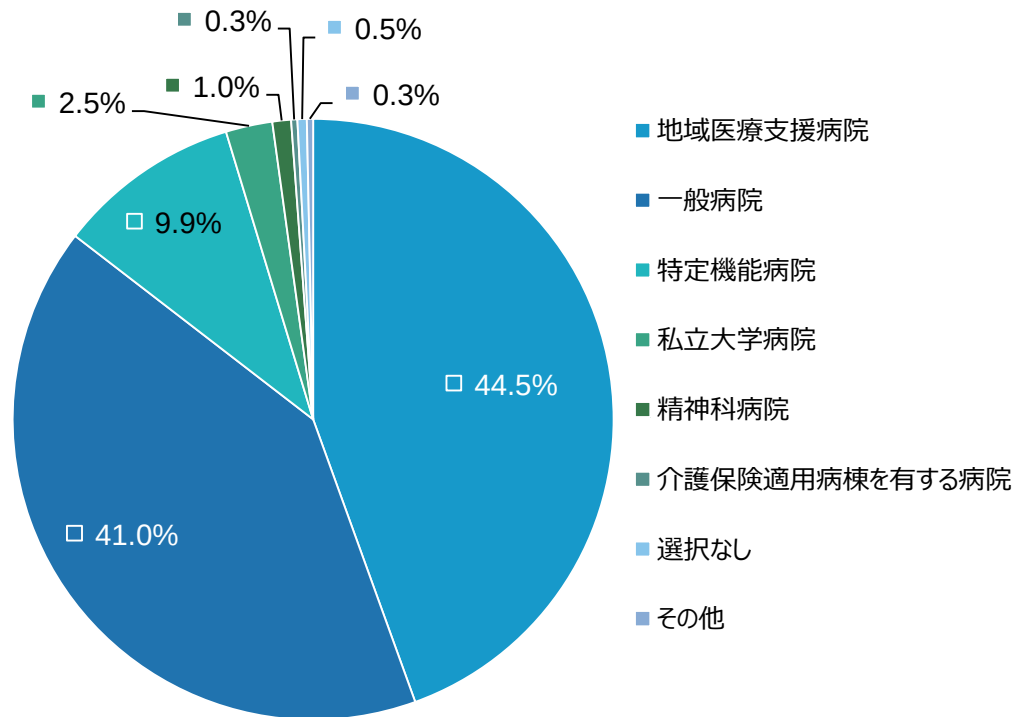
経営主体分類



施設数(n=598)
有効回答

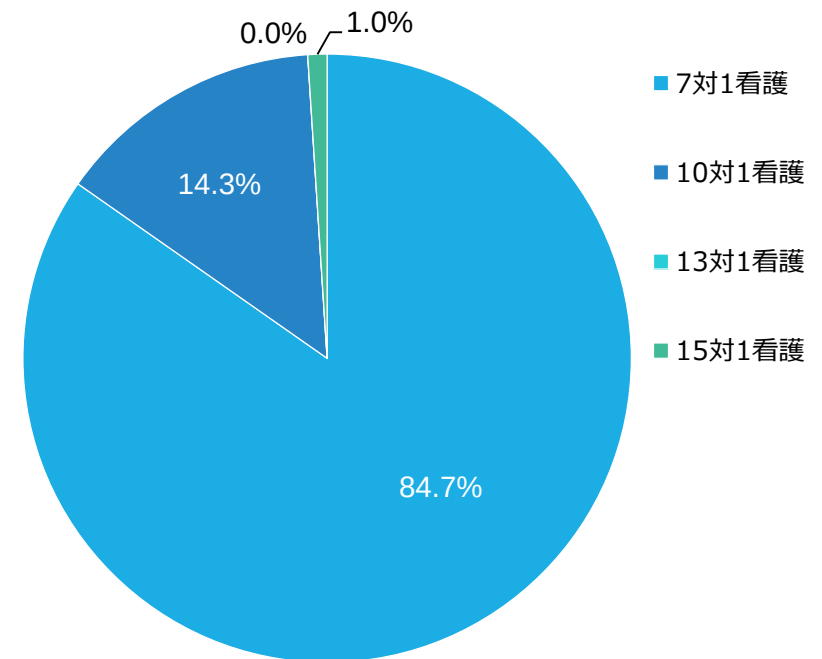
施設機能分類・看護体制

施設機能分類(施設数)



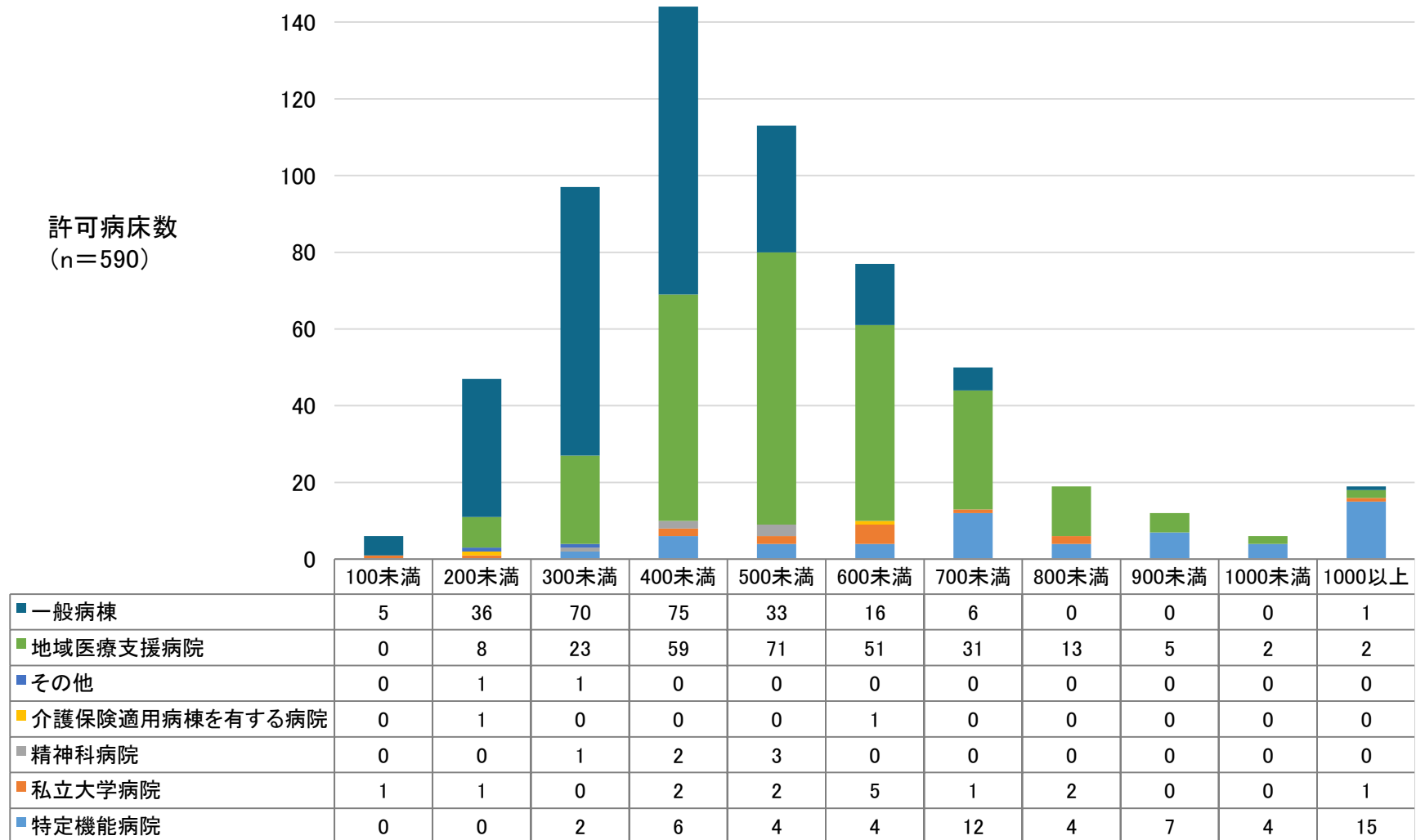
施設数(n=598)
有効回答

看護体制(施設数)

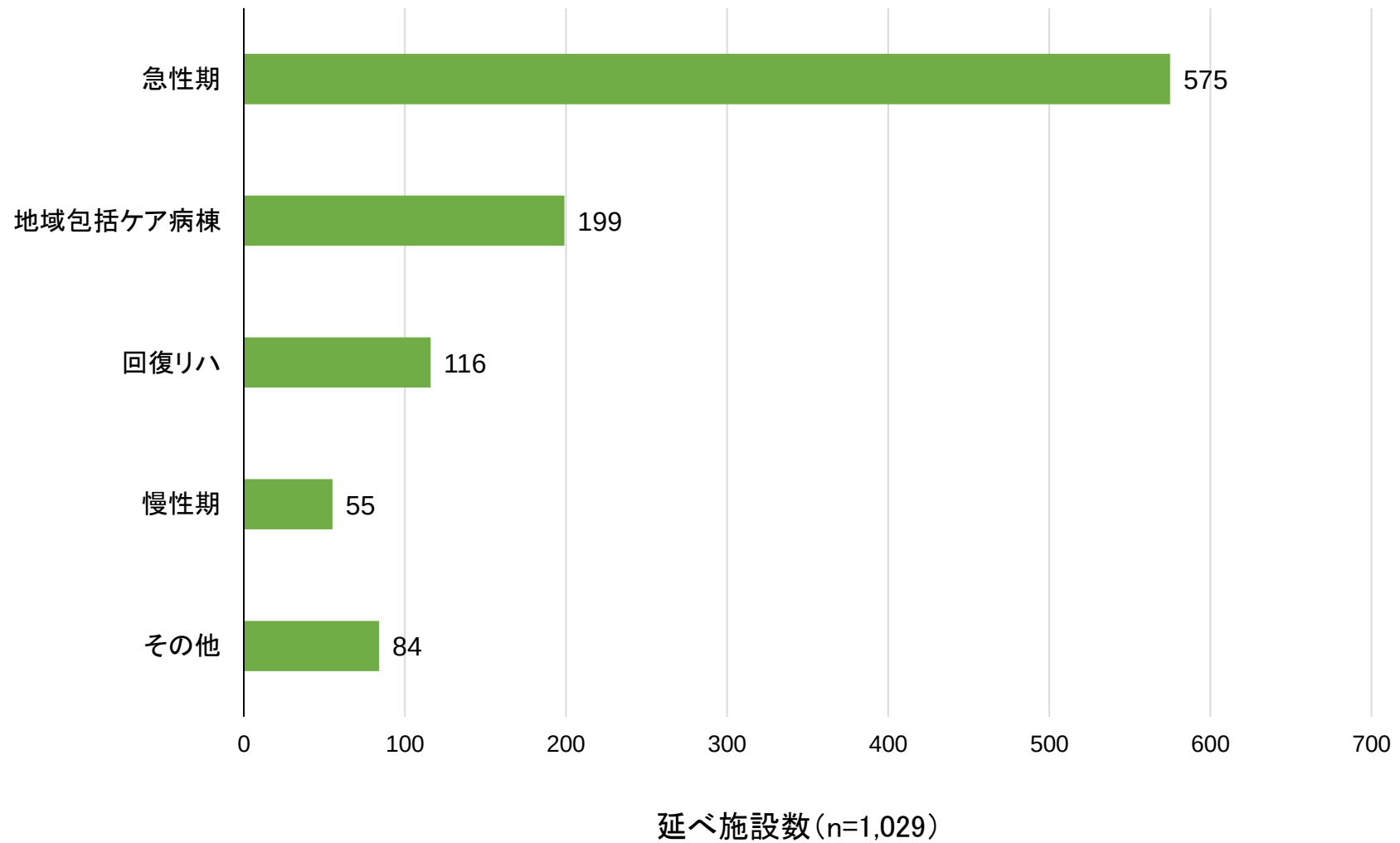


施設数(n=589)
有効回答

許可病床数と施設機能分類の関係

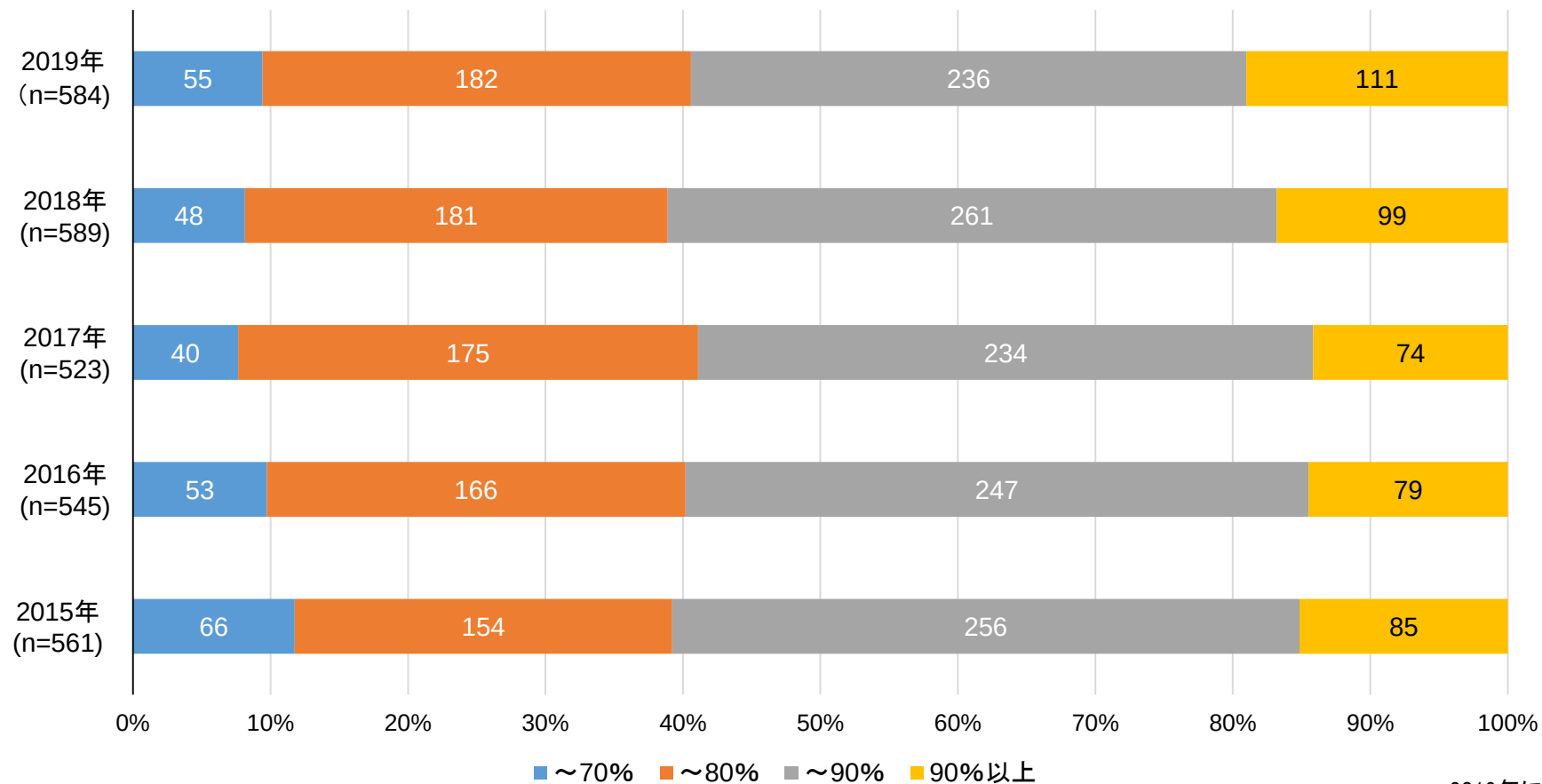


設置病床について



病床利用割合

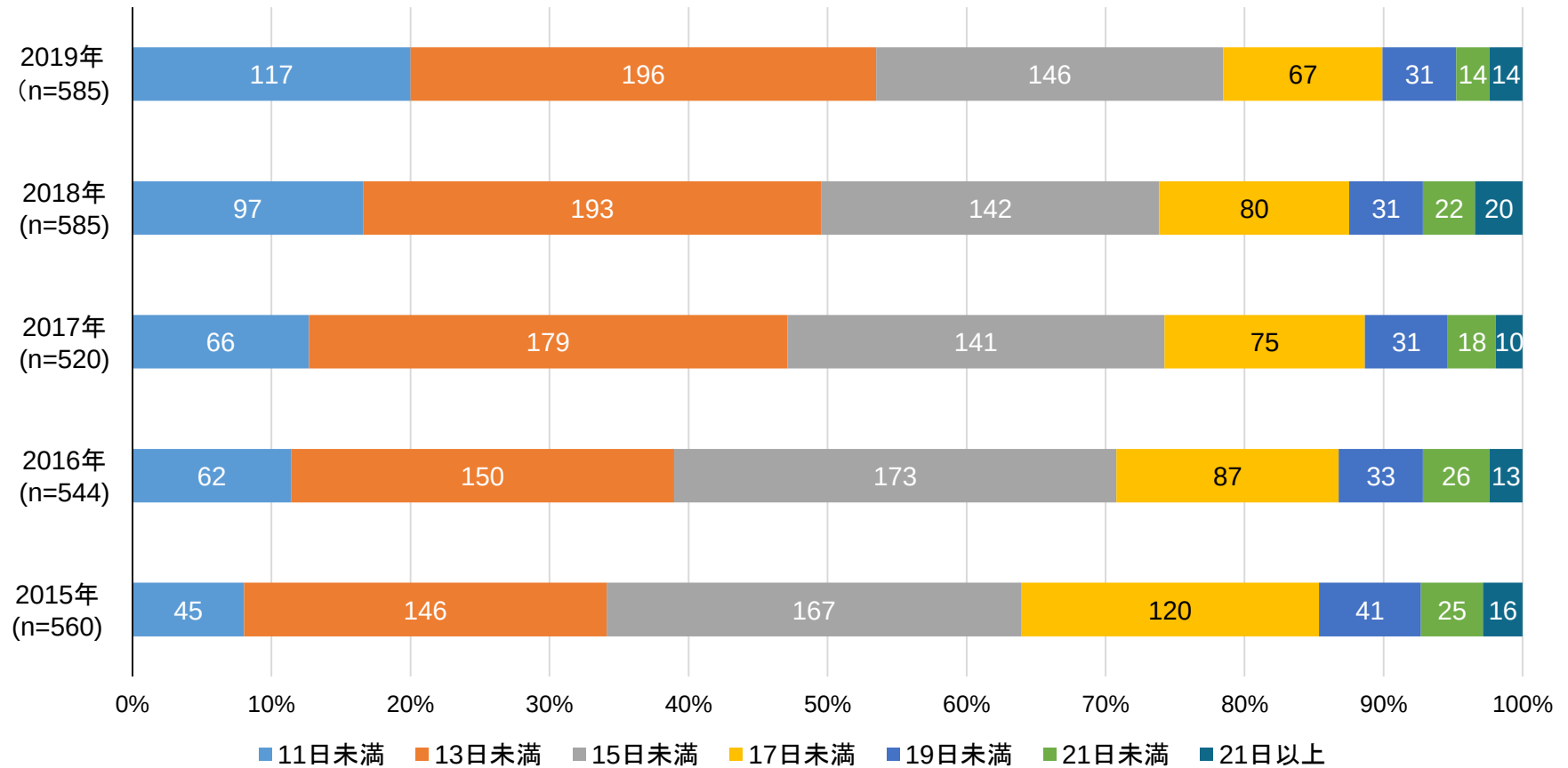
過去5年間にける一般病棟の病床利用割合の推移
(値は施設数を示す)



2019年に調査した
2018年度のデータ

平均在院日数

過去5年間に於ける一般病床の平均在院日数の推移
(値は施設数を示す)

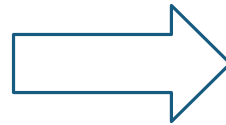
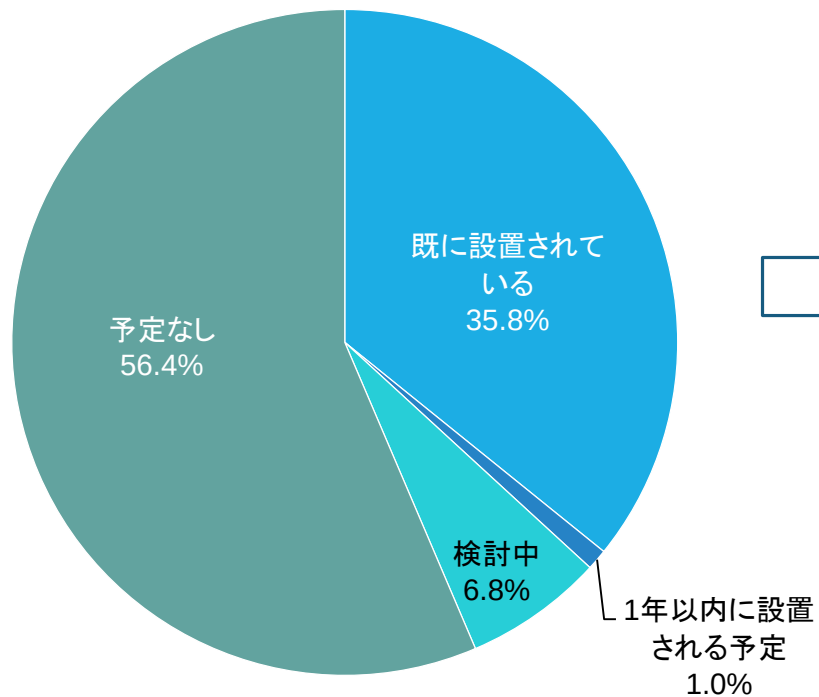


2019年に調査した
2018年のデータ

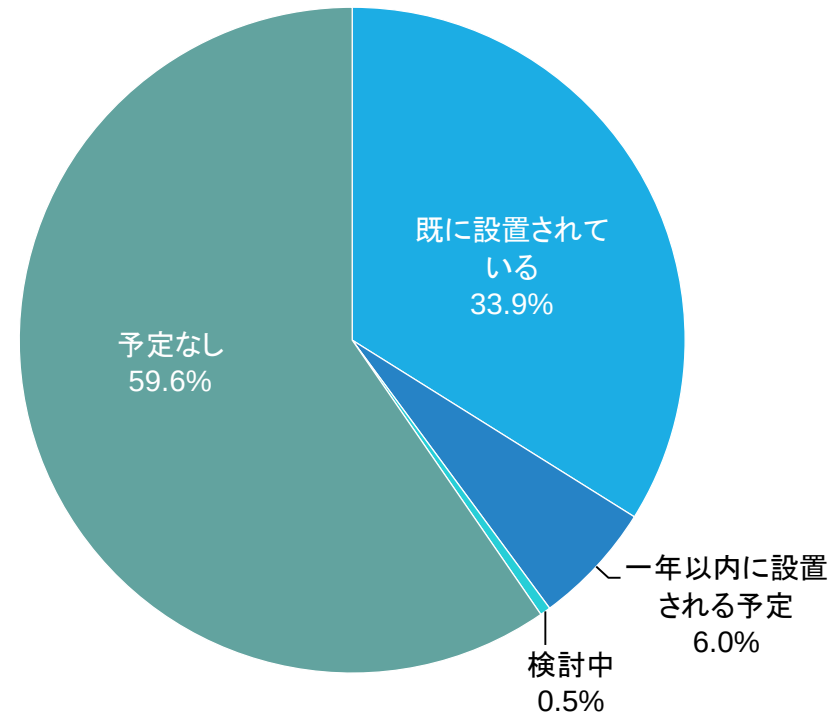
地域包括ケア病棟の設置状況

地域包括ケア病棟の設置状況

2017年度
有効回答(n=592)

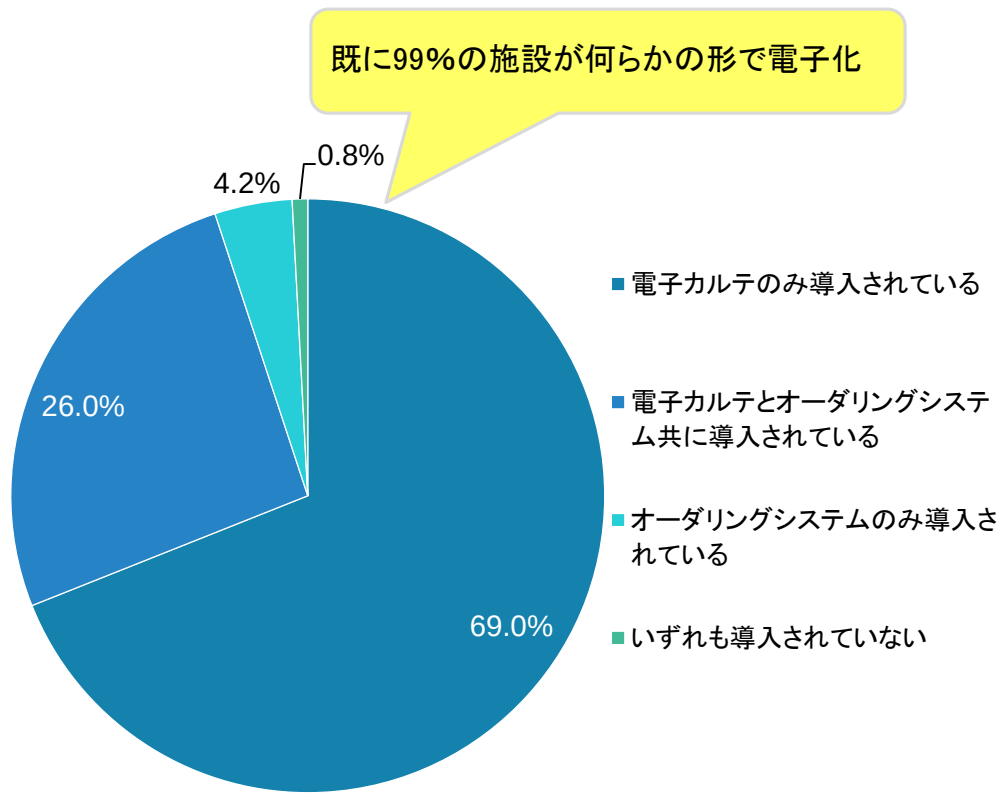


2018年度
有効回答(n=584)

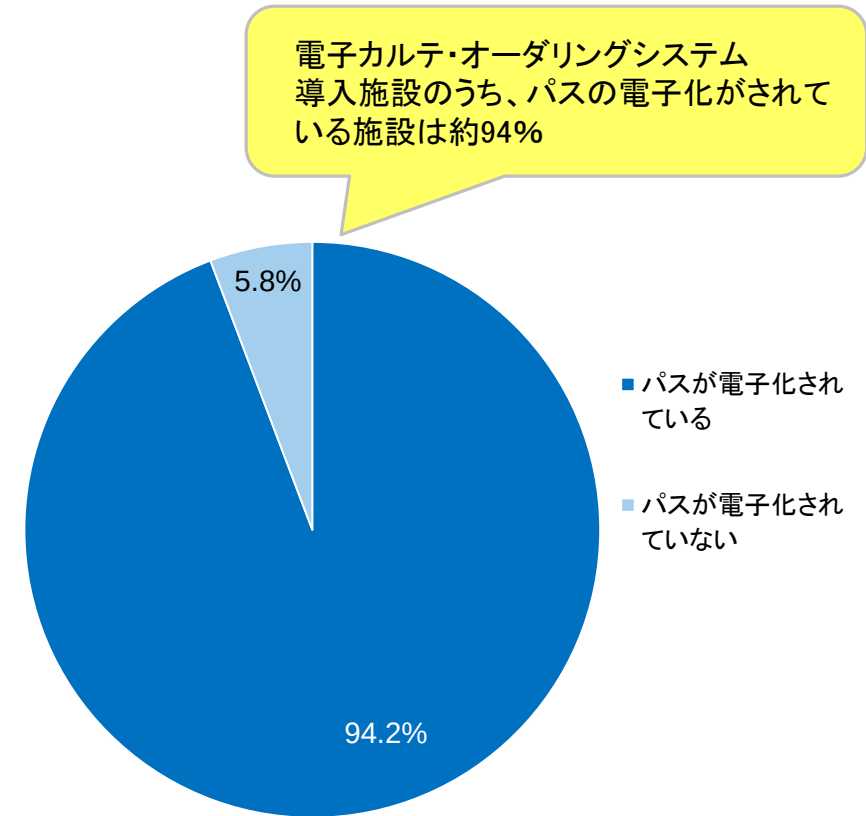


診療における電子化の状況

電子カルテ・オーダーリングシステムの状況
有効回答(n=593)



電子カルテ・オーダーリングシステムの状況と
パス電子化の関係
有効回答(n=434)



パス使用状況

パス使用割合(率)の定義

$$\text{パス使用割合(率)} = \frac{\text{パス使用患者数}}{\text{全退院患者数}} \times 100$$

(算定例) 年間退院患者数が1000人、そのうち一種でもパスを使用した患者が600人いた場合

$$\text{パス使用割合(率)} = \frac{600\text{人}}{1000\text{人}} \times 100 = 60\%$$

パス使用割合(昨年度)

平均 43.0%(41.6%)

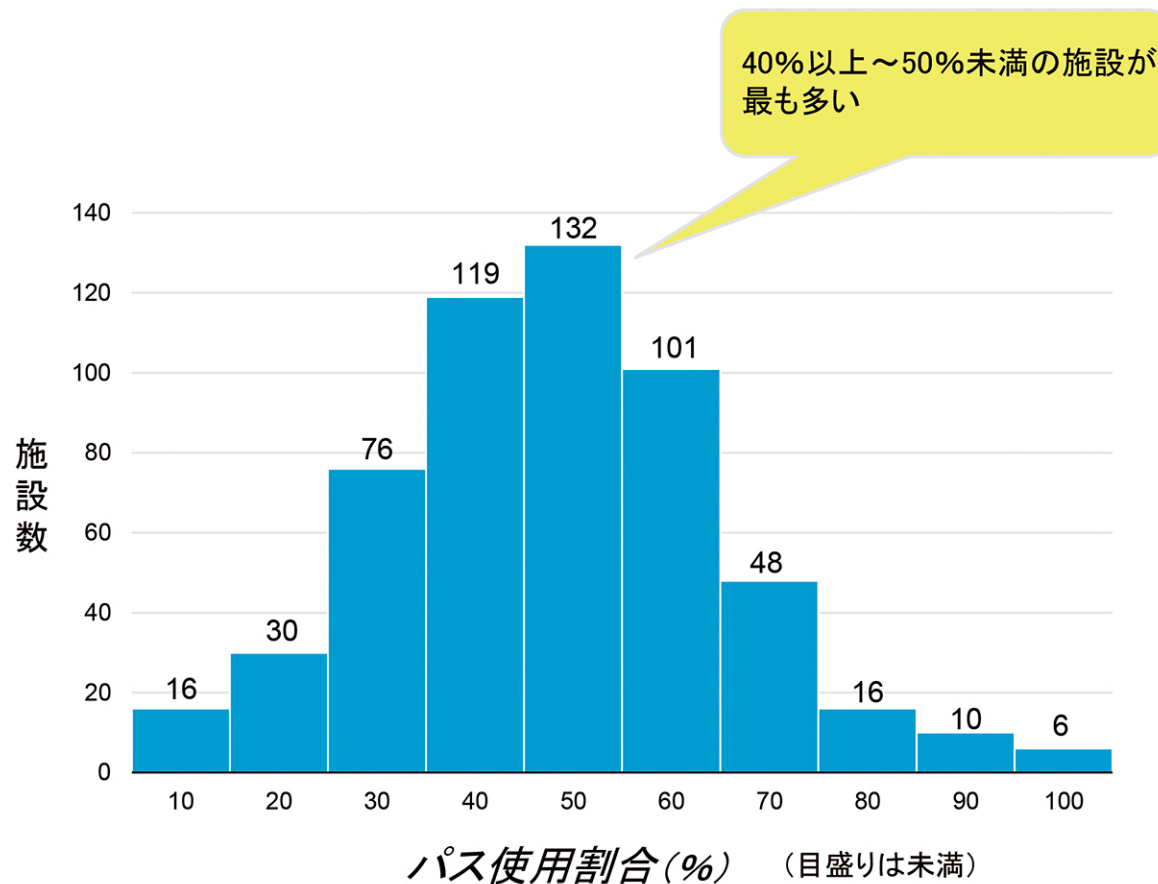
標準偏差 ±17.5%(±17.1%)

中央値 42.7%(40.9%)

n=554(n=559)

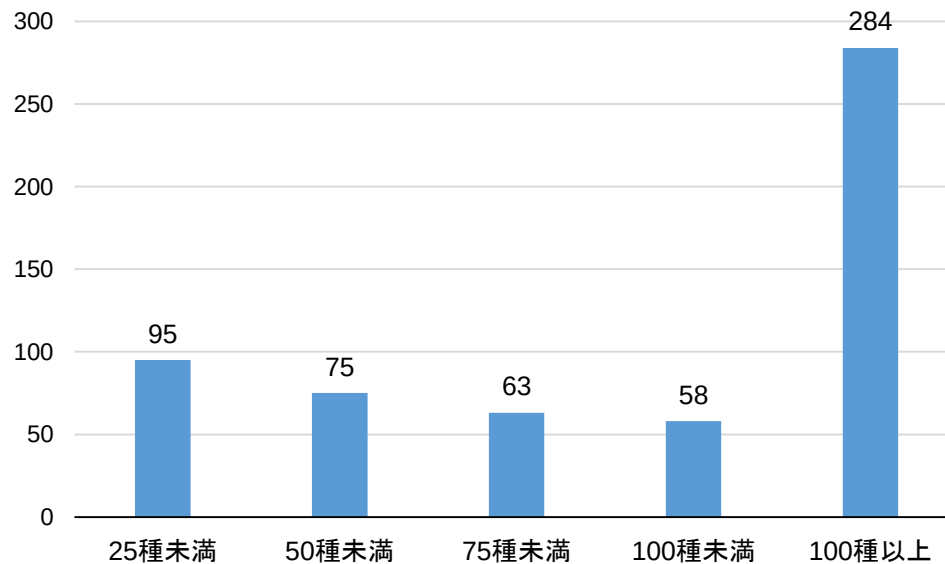
パス使用割合における施設数の度数分布

有効回答(n=554)

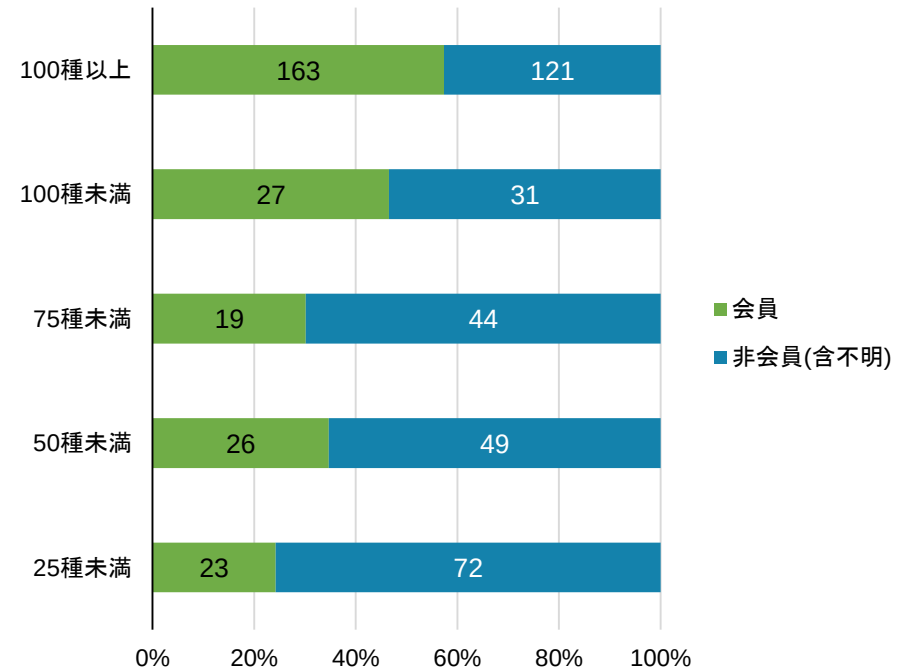


使用パス種類数

患者用・医療者用両方の揃ったパスの種類
有効回答 (n=575)

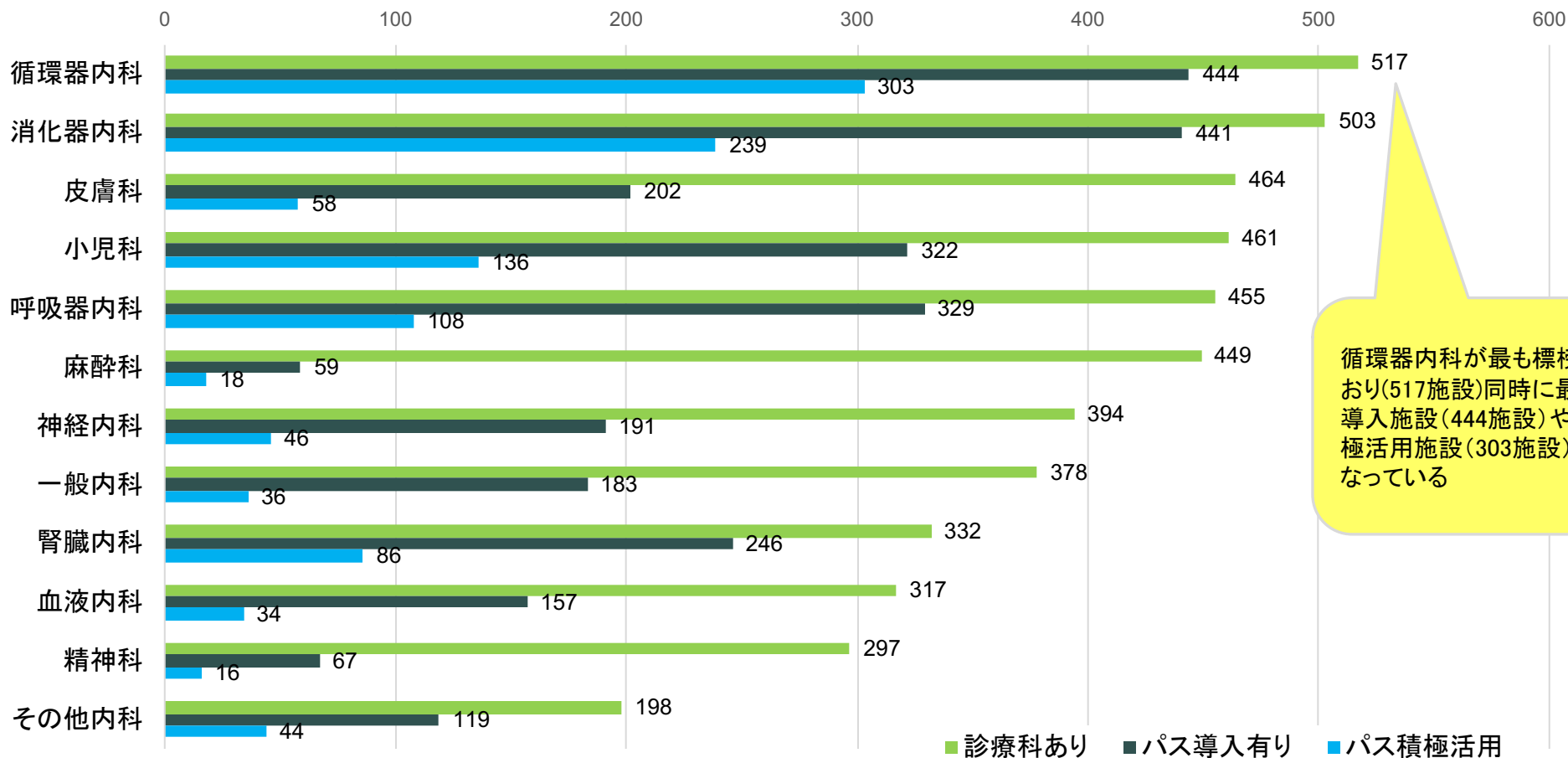


パス学会会員種別とパスの種類の関係
有効回答 (n=575)



内科系診療科におけるパス導入・活用状況

設置(標榜)診療科とパス導入及び積極活用施設数

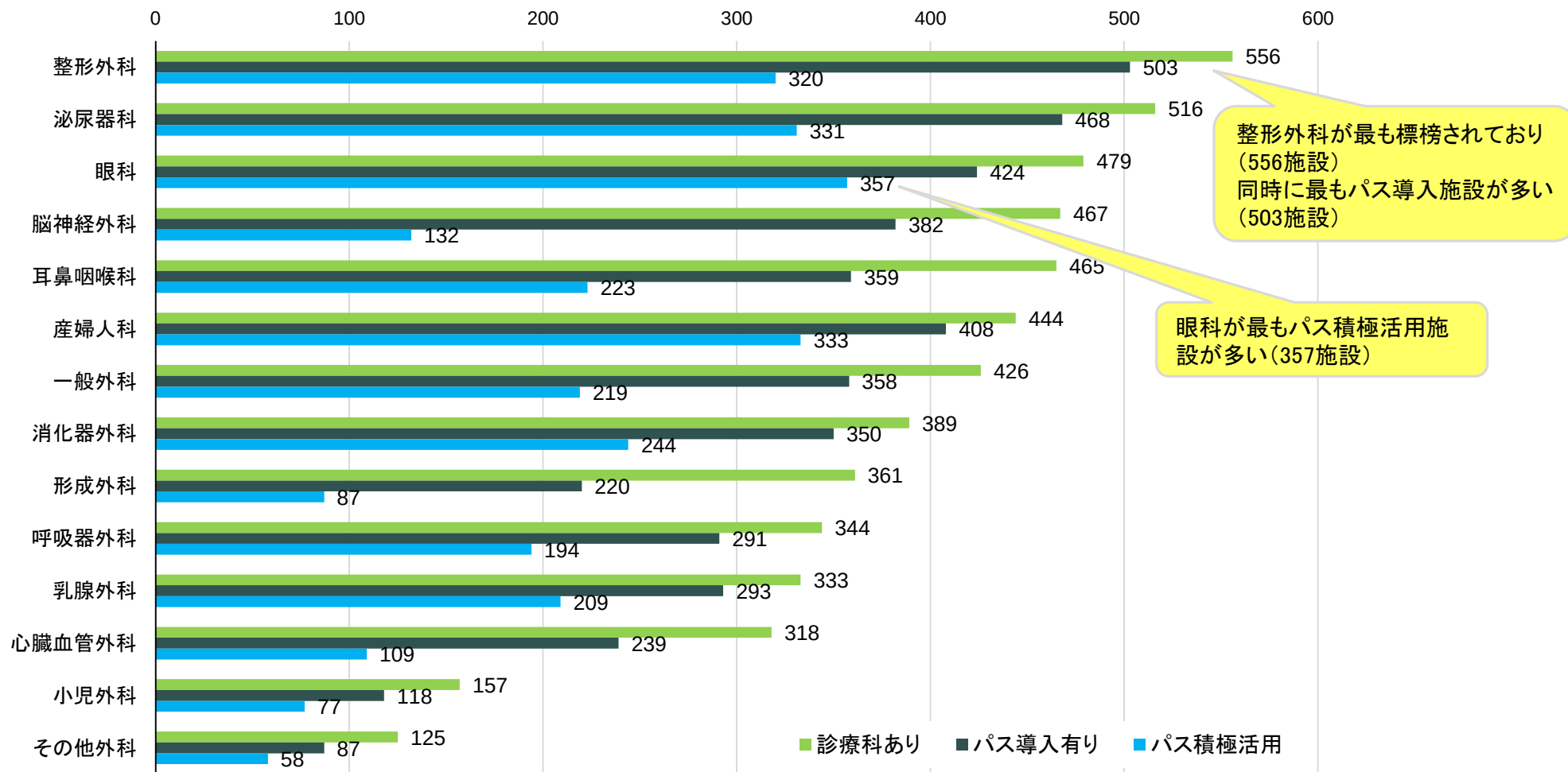


循環器内科が最も標榜されており(517施設)同時に最もパス導入施設(444施設)やパス積極活用施設(303施設)が多くなっている

内科系他(標榜施設)

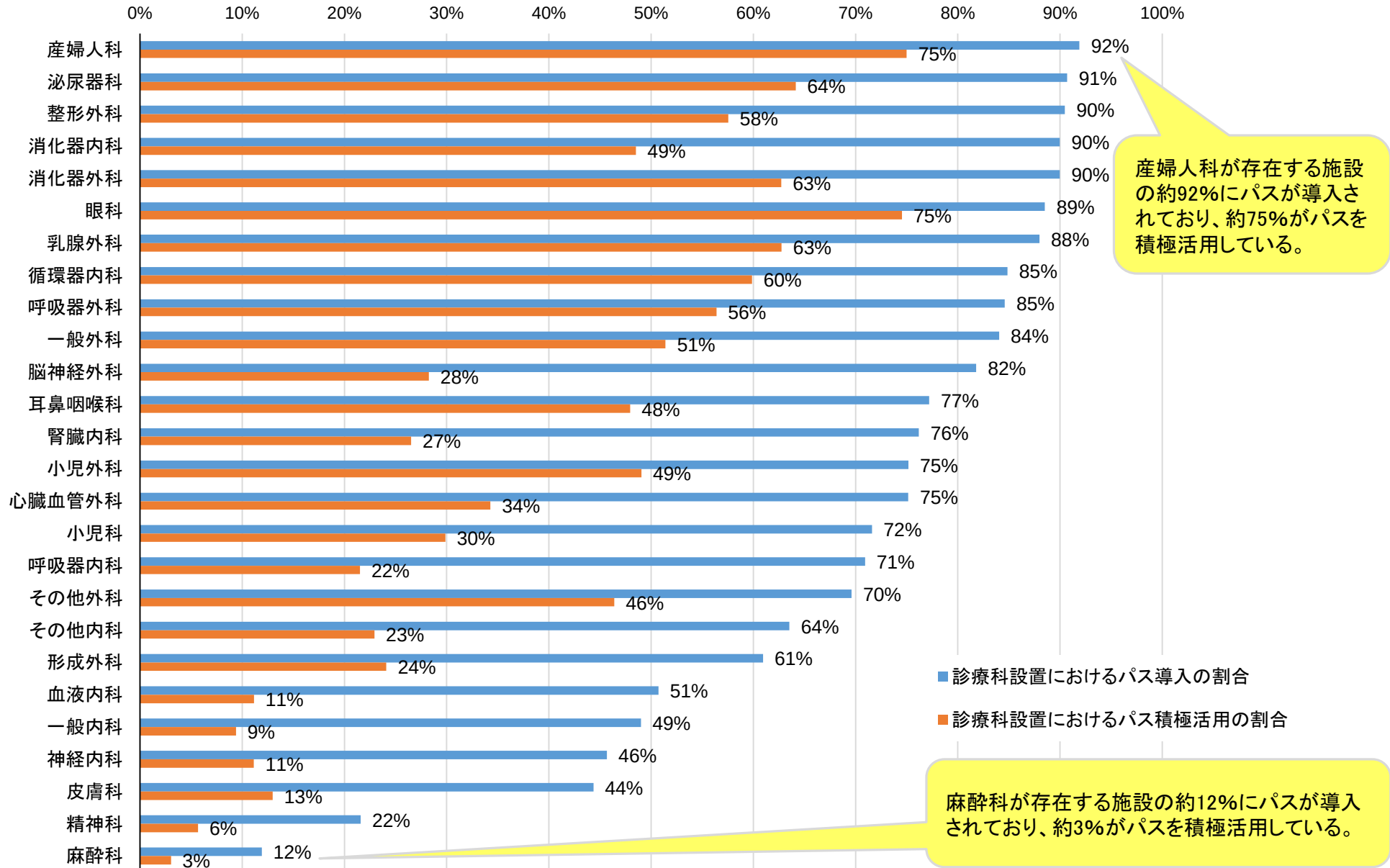
外科系診療科におけるパス導入・活用状況

設置(標榜)診療科とパス導入及び積極活用施設数



外科系他(標榜施設)

設置診療科毎のパス導入・活用の割合



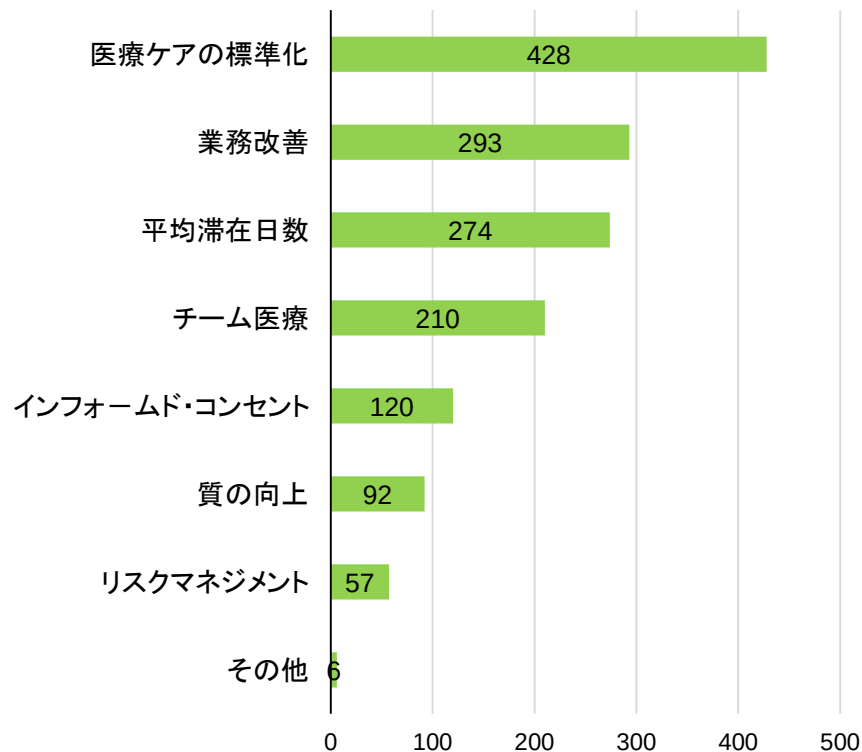
パスの導入で達成された点

パスの導入で困っている点

複数回答

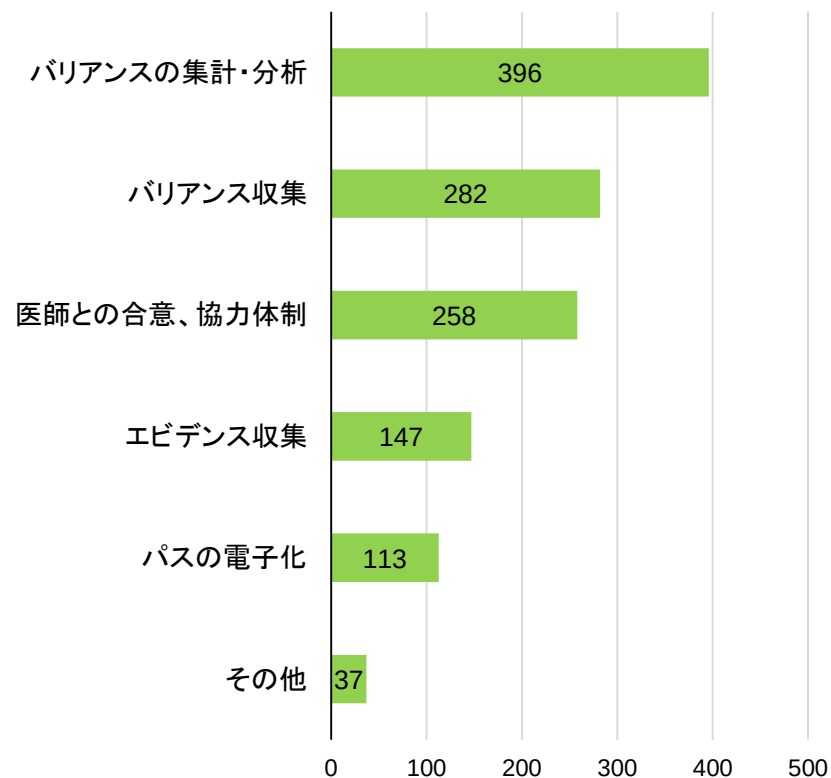
パスを導入して達成した上位3項目

延べ施設数 (n=1,480)



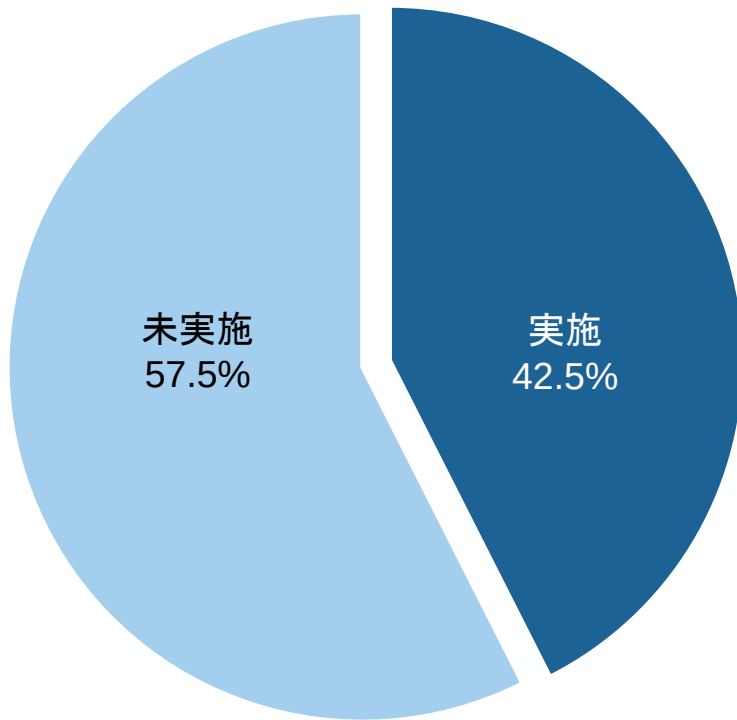
パスの運用で困っている項目

延べ施設数 (n=1,233)

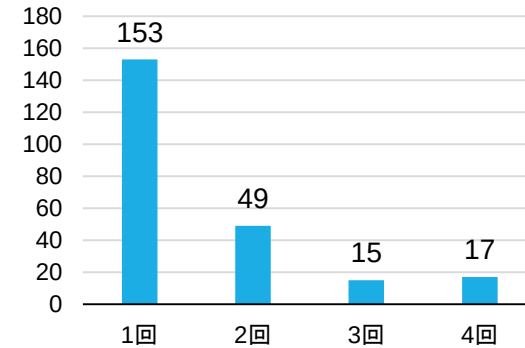


パス大会の開催状況

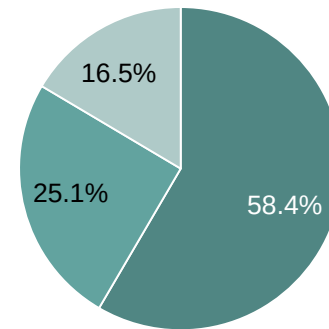
パス大会実施の有無
有効回答(n=543)



パス大会の年間開催回数の度数分布
有効回答(n=234)



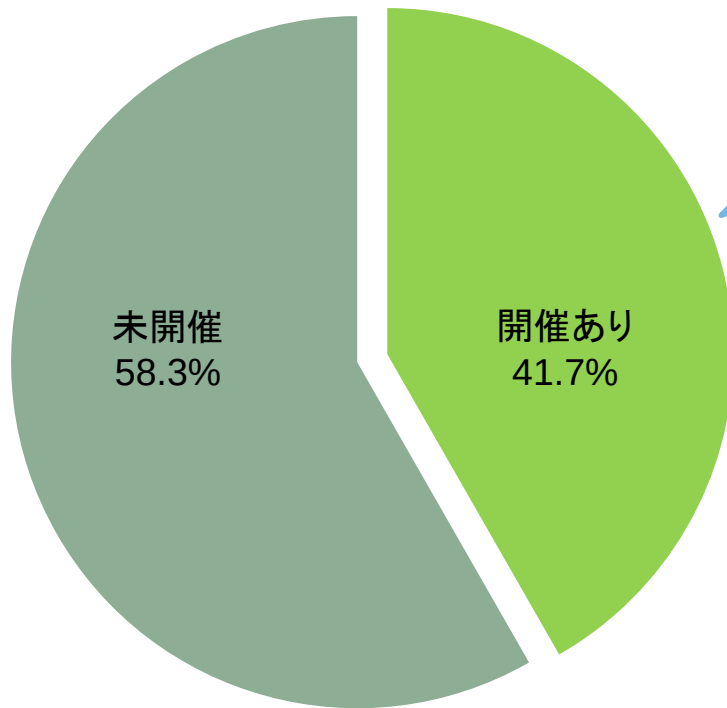
パス大会のテーマに関して
有効回答(n=255)



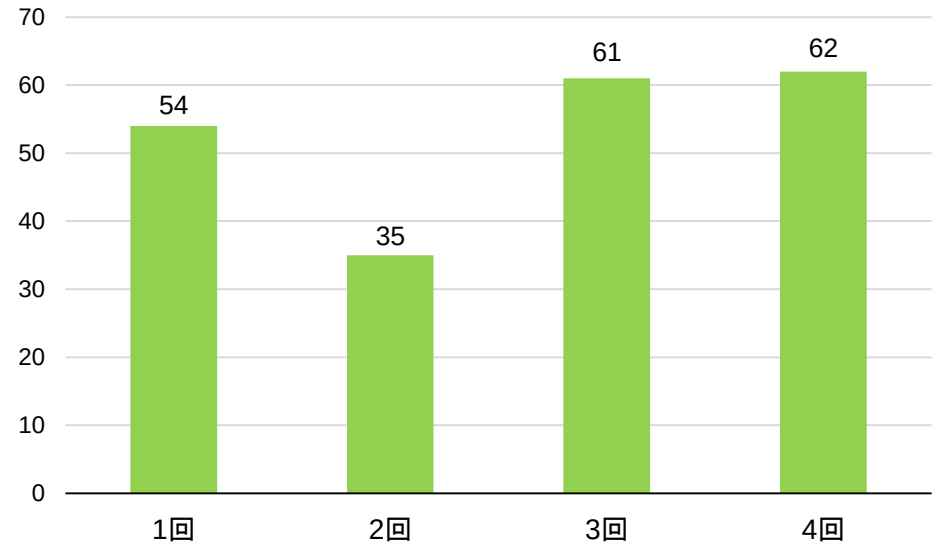
- 毎回何らかのテーマを決定してパス大会を開催している
- 各部署が当番制でテーマを決定している
- 疾患や領域別にテーマを決定している

地域合同バス研究会の開催状況

合同バス研究会実施の有無
有効回答 (n=544)



地域合同バス研究会の
年間開催回数の度数分布
有効回答 (n=212)

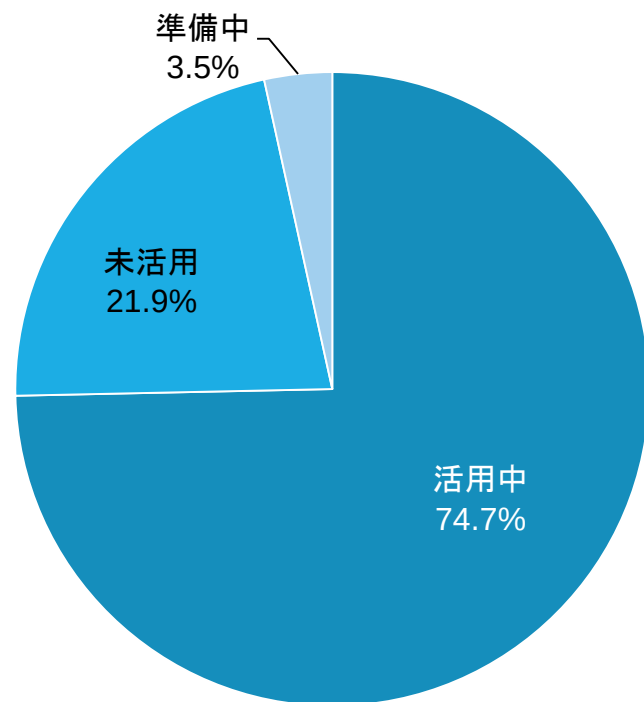


年4回の施設が最も多い

地域連携パス活用状況

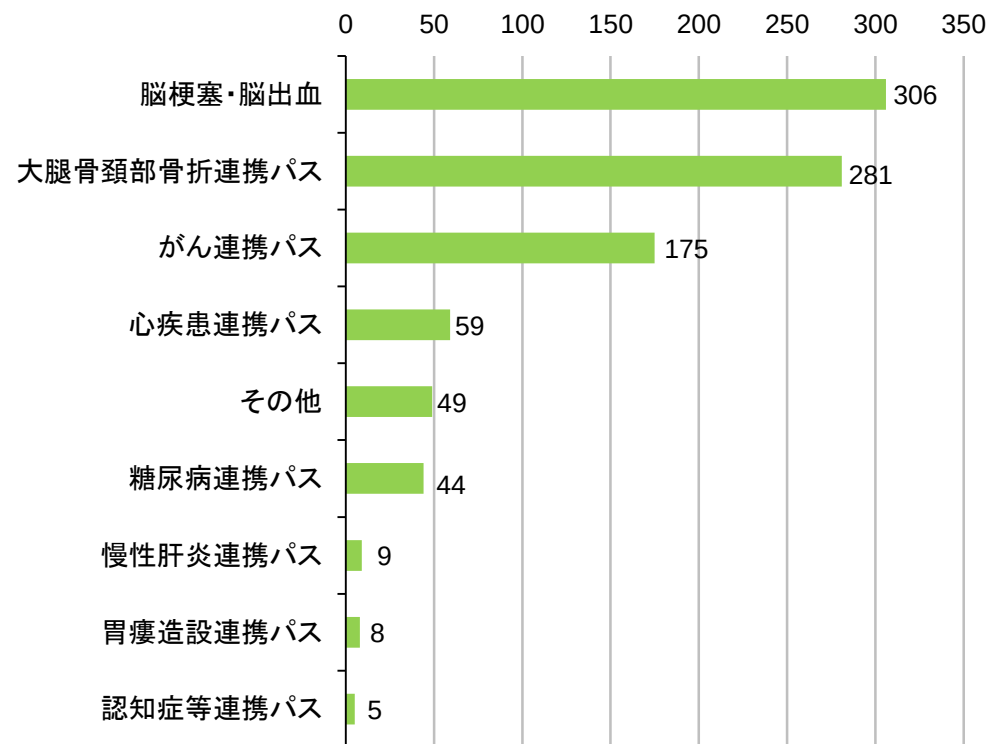
地域連携パス作成活用の有無

有効回答(n=521)



地域連携パスの種類

延べ施設数(n=936)



まとめ

1. パスの電子化の状況

電子カルテの導入されている施設では、約9割の施設でパスも電子化されていた。

2. 入院患者に対するパスの使用(適用)

入院患者に対するパスの使用割合(率)は42.9%と昨年度より1.3ポイント増加した。

3. 標榜診療科毎のパス導入・活用の割合

パス導入割合の最も多い診療科、パスの積極活用割合の最も多い診療科は産婦人科でありそれぞれ92%と75%の施設で導入と積極活用されていた。

4. パス大会・地域合同パス研究会の実施状況

施設におけるパス大会の開催回数は年1回が最も多く、地域合同パス研究会におけるパス大会の開催回数は年4回以上が最も多かった。

2019年度 特定調査

院内で集計しているパスに関するデータ
(パス使用率等のクリニカル インディケーター)について

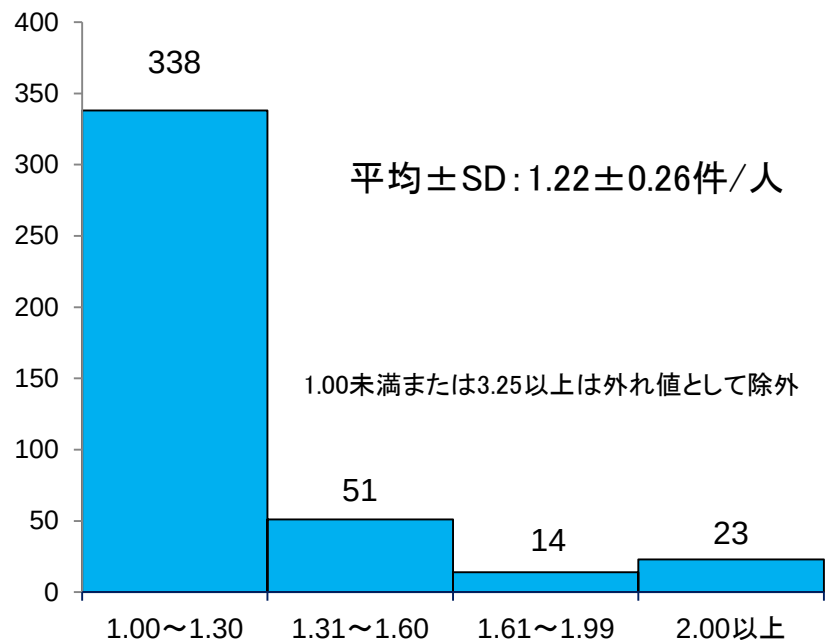
パスに関する インディケーターについて

パスに関するインディケーターの定義

$$\frac{\text{1年間に使用したパスの延べ件数 (件・年)}}{\text{パスを使用した患者数 (人・年)}}$$

(算定例)施設で1年間に、延べ3000件のパスを使用し、
パスを適用した患者が2000人だった場合

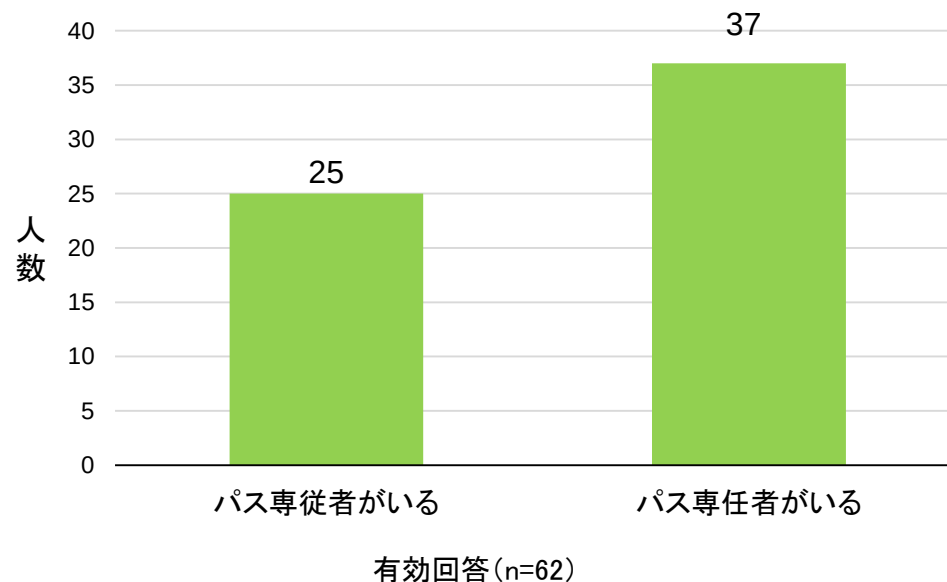
$$X = \frac{3000 \text{ (件)}}{2000 \text{ (人)}} = 1.5 \text{ (件/人)}$$



パス専任者または パス専従者について

パス専任者、パス専従者の定義

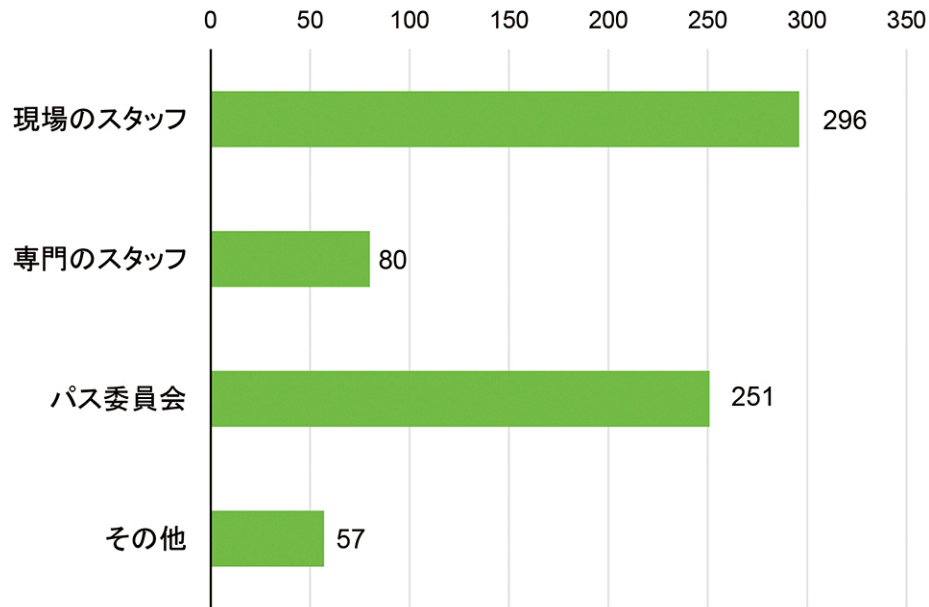
- ・パス専従者
業務の8割パスに関わっている
- ・パス専任者
業務の5割パスに関わっている



パス運用について

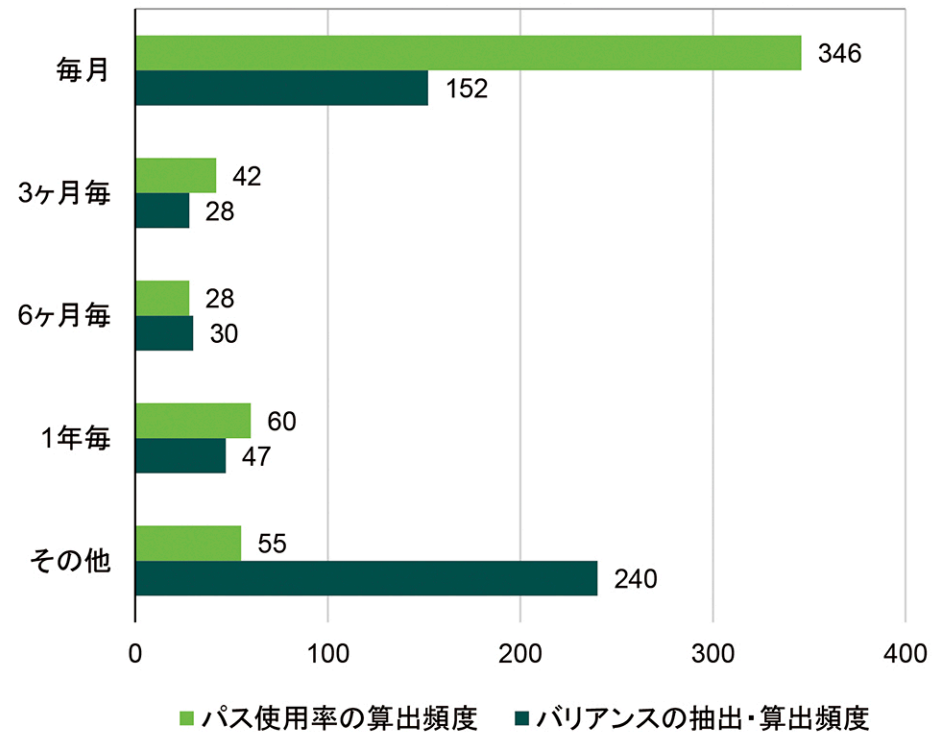
電子カルテシステムにパスを登録する担当者について

延べ施設数(n=684)



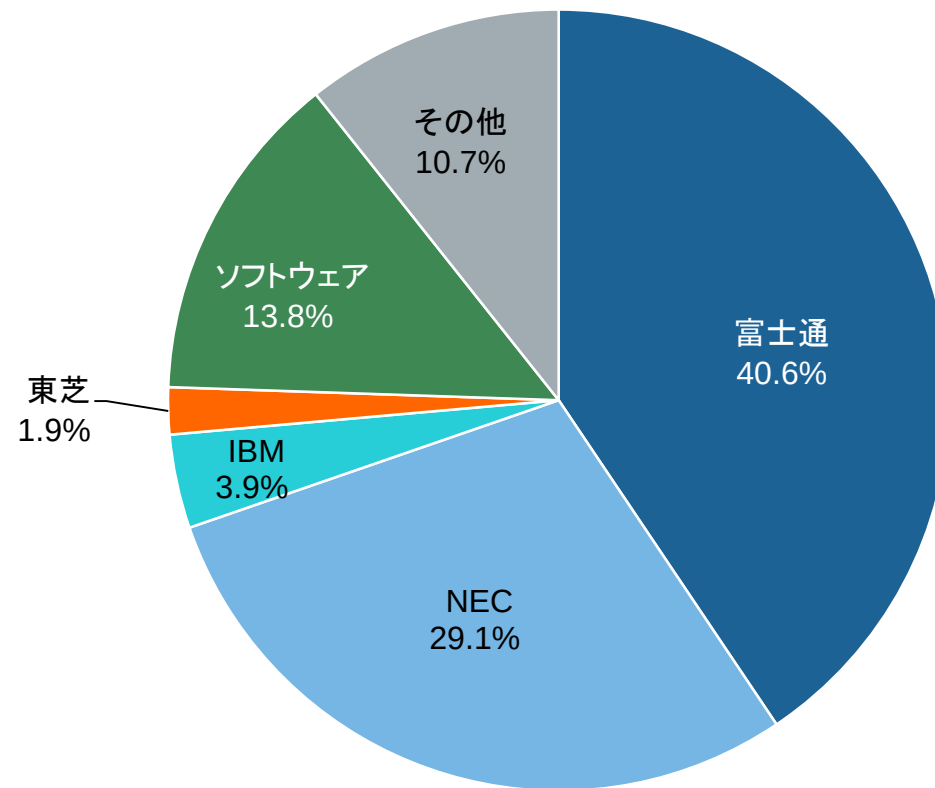
パス使用率及びバリエーション抽出の集計頻度について

有効回答(n=531、n=497)



医療情報に関して

電子カルテのベンダーについて

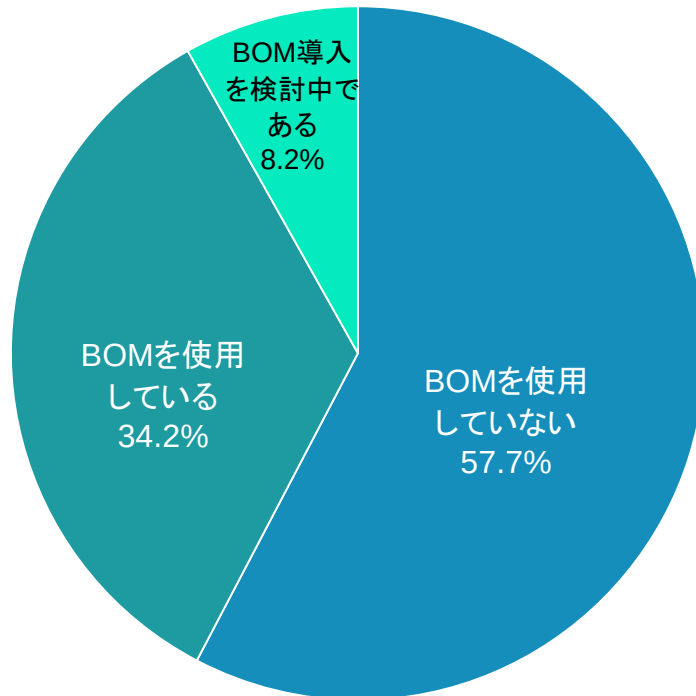


有効回答 (n=515)

医療情報に関して

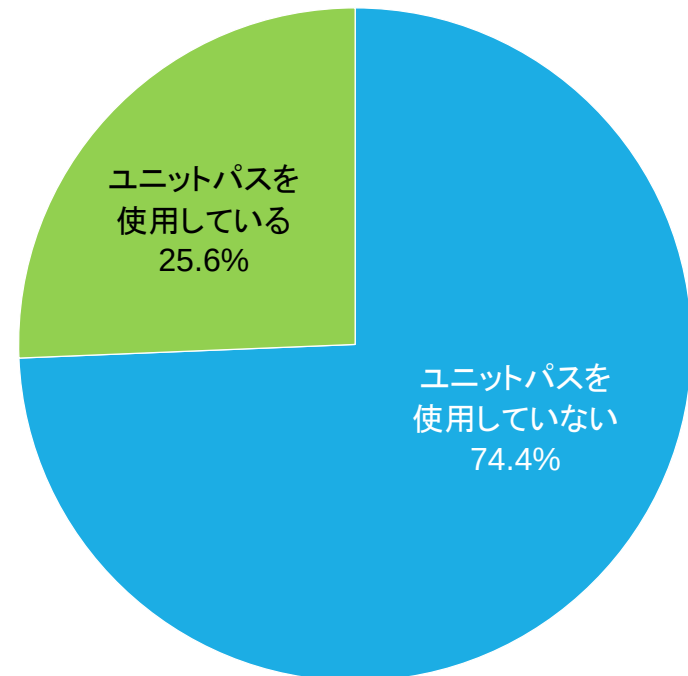
BOMの使用について

有効回答 (n=527)



ユニットパスの使用について

有効回答 (n=503)



医師・看護師などに対するパス教育研修に関して

